

2024(令和6)年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ワークレッシュ

I 事業期間

2024(令和6)年 4月 1日 ~ 2025(令和7)年 3月31日

II 事業の成果

上半期は、移転先改修工事の確認・調整に想定外の時間を要したが、その間に「和暮守ぶら坊準備室」として移転後の開設をイメージしながら備品等を調達していくことができた。大規模な工事は10月半ばから年末まで、その後の移転や設営・補修作業は年度をまたぎ、新規事業の開設準備は停滞したが、この間に現地視察や研修に出向いたり、貸しスペースの見学や移転先の体験ツアーを実施したりと、これまでにない質量での学びと交流の機会が得られた。年度を通じて事務所への来訪者は週3日ペースで続き、いずれも顧客対応やサービス利用というより、相談や交流の機会となった。制約の少ないインフォーマルな懇談や相談の機会とあって、多くの有益な示唆や新たな関係性を得ることができた。いずれの事業活動も、計画通りに運ばず実績は著しくふるわなかった。

管理部門(事務局業務)としては、下半期より、今後活用していくべきSNSやデジタルツールなどを選定し、試験的に運用を開始。他認定NPO法人の支援事業により、ホームページの再構築やSNSの運用について実践的な援助を受け、徐々に発信度を上げた。12月には、「ワークレッシュ再創生応援メンバーシップ」と称し、寄付依頼を始めた。イベントや研修への参加を通じて、合わせて40余名の元利用者や支援者との関係が再開した。2月以降、全面「臨時休業」として移転・開設準備に勤しみ、旧利用家庭や支援者らから設営準備の協力を得たり、モニター体験利用を受け入れ、共に場をつくり始めた。

2023年5月末で障害児通所支援事業(放課後等デイサービスフェイス)を事業譲渡、認可外保育施設～子どものためのコミュニティ・スペース～ワークレッシュを閉業して以来、改修工事が大事業であるかのような一年度だった。長い低迷期であるが、移転のための地ならしにややゆとりをもって取り組むことができた。この期間に得られ、回復したものを生かして、創業期の意気と志に立ち返り、法人の理念やコンセプトをより鮮烈に実現していきたい。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業名 地域学習会の企画・開催「講師派遣」

(内 容) 講座の企画・進行

大阪狭山市市民活動支援センター主催

「団体立ち上げスタートダッシュ！応援セミナー」

(実施場所) 大阪狭山市役所南館2階

(実施日時) 2024年7月13日(土)・27日(土)14時～16時

(事業の対象者) 大阪狭山市民

(収 益) 81,000 円

(費 用) 39,543 円

(2) 事業名 地域の子育て相談と支援

① 和暮守ぶら坊準備室

(内 容) 親子の憩いの場の運営・生活体験と交流の機会提供

味噌づくり・もちつき・バーベキューなどの交流会も実施

(実施場所) 主たる事務所に併設の和室・居室

(実施日時) 2024年7月～2024年12月末

(事業の対象者) 子育て家庭とその友人知人

② まきばプロジェクト

(内 容) 生活体験・自然体験と地域交流の機会提供

デイキャンプ・宿泊体験

大阪狭山市立公民館主催のイベントへの出店

(実施場所) 貝塚市蕎原2008番地(移転先)及び近隣施設等

(実施日時) 2024年7月～2025年3月末

(事業の対象者) 元利用者家族とその友人知人

(収 益) 377,112 円

(費 用) 653,471 円

内、施設等受入評価益/費用 171,130円

ボランティア受入評価益/費用 29,744円

2 その他の事業

実施していない

Ⅳ 社員総会の開催状況

第22回 定期総会

- (日 時) 2025年6月25日 10時20分から11時55分
(場 所) 大阪狭山市立コミュニティセンター4階 多目的室2
(社員総数) 12名
(出席者数) 10名(うち委任状出席者2名)
(議 事) 第①号議案: 2023年度 事業報告
第②号議案: 2023年度 収支決算報告
第③号議案: 2024年度 事業計画
第④号議案: 長期借入金の算入
第⑤号議案: 役員報酬の改定
第⑥号議案: 2024年度 収支予算
第⑦号議案: 監事の新任
第⑧号議案: 議事録署名人の選任

Ⅴ 理事会その他の役員会の開催状況

理事会

- (日 時) 2024年9月11日 17時30分から18時00分
(場 所) 法人事務所 但し、電磁的通信による
(出席理事) 高見 一夫 燈田 礼子 和久 貴子
(議 事) 主たる事務所の移転について

以上